

【平成 24 年度 免許状更新講習シラバス】

講習の区分	選択領域		
講習の名称	歌舞伎の音楽～黒御簾の楽器と演奏法～		
受講者数	20 人		
講習日	平成 24 年 8 月 21 日（火曜日）		
講習時間数	6 時間		
主な受講対象者	中学校・高等学校の教諭（音楽・国語・演劇）		
講習会場（教室名）	有明教育芸術短期大学 3階301教室 &音楽演習室		
担当教員	茂手木潔子（有明教育芸術短期大学 教授）		
講習形態	演習・実技を中心とする		
講習の概要	<p>1 時間目： 歌舞伎音楽と舞台の概説（視聴覚教材使用）</p> <p>2～3 時間目： 黒御簾楽器の種類と奏法解説（様々な楽器を用意し演奏を体験する。）</p> <p>4～5 時間目： 演奏体験（前の時間に覚えた奏法で、情景描写、心理描写をしてみる）</p> <p>6 時間目： グループごとの発表（歌舞伎にまつわる場面を創案し、楽器を組み合わせる）</p> <p>時間未定ですが、当日は歌舞伎の囃子方もゲストで登場予定です。</p>		
講習の内容・計画	時 間	内 容	時間配分
	9:00～10:00 (301 教室)	歌舞伎音楽の種類と概説（視聴覚教材使用）	60 分
	10:00～12:00 (音楽演習室)	黒御簾楽器の奏法と役割 革製打楽器（大太鼓、楽太鼓など）、金属製打楽器（銅羅、双盤、鐘、オルゴールなど）、木製打楽器（ツケ一式、版木、木頭など）歌舞伎の打楽器を中心に、奏法、使用場面や目的を説明し、受講生が体験する。	120 分
	12:00～13:00	昼食休憩	60 分
	13:00～15:00 (音楽演習室)	2～3 グループに分かれて午前中に体験した楽器を用いて、歌舞伎風の場面を創案し、音楽を構成して発表し合う。	120 分
	15:10～16:10 (301 教室)	質疑と意見交換。 本日の講義・演習・実習内容に沿った試験。(30 分)	30 分 30 分
履修認定試験の方法 (評価方法等)	終了後、筆記試験を課す。		
教科書・教材・参考書	国立劇場編『かぶきの本』（@500 円）を使用。参加費に含む。 その他、当日、資料を配布する。		
その他（受講上の注意事項等）	筆記用具持参。毛氈の上に座ることもあるので正座しても楽な服装で来て下さい。 当日用意した歌舞伎黒御簾楽器の写真撮影・映像や音の録音も許可します。		